

水戸

最高の出会いと出番がある

高

2024



茨城県立水戸第一高等学校



校 是 (こうぜ)



明治41(1908)年に当時の校長菊池謙二郎が定めました。『至誠一貫』は^{し せい いっかん}大政奉還を成し遂げた徳川慶喜公に、『堅忍力行』は近代外科医の先駆者で



ある佐藤進氏に書いていただいたものです。以来百年以上、裏表のない誠実さと、最後までやり抜く力を重視してきました。

目指す学校像

● 真理を愛する学問第一の校風の下、質が高く、活気ある授業や課題研究、社会と連携した教育プログラムを展開する学校

● 自主自立の精神を重視する自由な校風の下、生徒が何ごとにも主体的に取り組むとともに、中高・学年の枠を超えて切磋琢磨する学校

● 至誠一貫・堅忍力行の校是の下、豊かな人間性や最後までやり抜く力を育むとともに、高い目標に挑む生徒をしっかりと支援する学校

目指す生徒像

自己の目標の実現を目指し、社会性と創造力、自己決定力を身に付け、社会に貢献できる人材

本校の沿革

明治11(1878)年	茨城師範学校予備学科開校(本校創立)
明治13(1880)年	茨城中学校として分離独立
明治16(1883)年	茨城第一中学校と改称
明治19(1886)年	茨城県尋常中学校と改称
明治29(1896)年	旧水戸城跡に移転
明治32(1899)年	茨城県中学校と改称
明治33(1900)年	茨城県水戸中学校と改称
明治34(1901)年	茨城県立水戸中学校と改称
昭和23(1948)年	茨城県立水戸第一高等学校発足
昭和53(1978)年	創立100周年記念式典举行
平成17(2005)年	単位制に移行
平成30(2018)年	創立140周年記念式典举行
令和 3(2021)年	附属中学校開校(1学年2クラス 80名)
令和 5(2023)年	創立145周年・附属中学校完成

「知道」の由来

「知道会」(同窓会)・「知道生徒会」(生徒会)の名称の由来

知 萬物に周くして、
道 天下を済ふ。 出典「易経」

知恵・知識を備えることは、天下を正しい方向に導くことに通じる、という意であり、「よく学び、正しい知識を身に付け、世のために役立つ人物を目指しなさい」というメッセージが込められています。



本校の環境

水戸城本丸・下の丸跡に所在する本校には、現存する水戸城最古の建造物である薬医門や日本最大級の土塁・堀をはじめ、多くの文化財が残されています。また、水戸駅に近い都市部にありながら、豊

かな生態系が維持され、自然環境にも恵まれています。ガラス張りの校舎は明るく、大型の体育館も今年リニューアルされました。集中して自習できる学習館や、豊富な蔵書を誇る図書館も完備しています。



▲本校を囲む巨大な土塁・堀

地図



◎JR水戸駅より徒歩10分

本校の卒業生

本校の卒業生は約3万9千人に及び、各界で活躍しています。

例えば、本邦初の都市間連絡飛行に挑んだパイロット・武石浩玻氏(明治35年卒)、学生野球の父と呼ばれ「一球入魂」の言葉でも知られる飛田穂洲氏(明治40年卒)、水戸空襲で焼け野原となった本校

でオセロゲームを考案した長谷川五郎氏(昭和31年卒)、建築界のノーベル賞と呼ばれるプリツカー賞を受賞し、校内の江山閣も設計した妹島和世さん(昭和50年卒)、本校の歩く会をモチーフにした小説「夜のピクニック」でも知られる作家・恩田陸さん(昭和58年卒)など、多士済々にわたります。



民間パイロットの魁
武石 浩玻
(明治35年卒)



学生野球の父
飛田 穂洲
(明治40年卒)